

救急外来の

受診方法が変わって3ヶ月!!

『救外は変わったのか?』

医師不足による荷重労働を解消する目的で、掛川市では平成18年10月より夜間診療の開業医による当番医制が導入され、受診方法が変わりました。当院でも平日17時〜22時と土日祝日の9時〜17時まででは看護師による医療相談を実施し、症状によっては当番医の紹介をしています。今回の新救急体制後の病院受診者数はどう変わったでしょうか。

救急外来受診者の状況				
月	対応時間		H17	H18
10月	平日	17時〜	244名	181名
		22時〜	250名	184名
	休日	昼間	461名	252名
		夜間	346名	304名
11月	平日	17時〜	210名	151名
		22時〜	211名	203名
	休日	昼間	416名	183名
		夜間	261名	316名



相談窓口にて問診中

掛川市の市民啓発の効果もあって当院の救急外来受診者数は前年度と比較して減少傾向が見られ、反対に当番医への受診数は増加しています。今年は何年より早く胃腸炎の発症があります。11月の受診者数は少し増えています。

今後も職員の皆様の啓発活動により、「地域全体での医療体制の確立」ができていけるように市民に向けての一層の働きかけをお願い致します。

ICLS認定
に向け

特訓中

ACLSコース



インストラクターの立場から

2西 前田久美子

私がACLS・ICLSを知ったのは3年前の事で、勉強会へ参加したのがきっかけでした。実技、筆記試験もあり、当日の勉強会は大変だったけれど、楽しくもあり、学ぶ事が本当に多かったのを覚えています。その後少しずつ院内でも勉強の輪が広がっていき、AEDも設置さ

れました。医師がいなくても、まず看護師として急変時にできる事はあり、医師が到着した後は継続して対応でき、それが患者さんの救命につながると思います。

インストラクターとして勉強会に参加する中では、どうしたら分かりやすく伝わるか、楽しく参加してもらえるか、受講生の立場の時よりも勉強した程ですが、それがより自分のためにもなり、当日一生懸命勉強会に参加してくれた受講生方を見て、やってきてよかったなと思えました。今でも急変時には慌てて、混乱してしまう事はあります。そのためにも、継続して勉強していくことが重要だと思っています。



H18.11.9インストラクターによる救命処置の説明

- A**CLS
二次救命処置
- A**dvanced
- C**ardiovascular
- L**ife
- S**upport
- I**CLS
ImmEDIATE
- C**ardiac
- L**ife
- S**upport